

ヤマセ常緑地帯における「たがねみのり」の期待生育量と
耐寒安定栽培法

(農試・東北会場)

1. 背景とおとし

「たがねみのり」は昭和33年に寒冷地栽培の東北部並びに沿岸部を対象として選
育された。ゆえに東北沿岸部はヤマセの適性が極めて激しく、したがって「たがねみ
のり」は「リヤニシキ」に比較して耐寒性がすぐれ、収量・品質を勝った。
このことから当品種に対する地域農家の期待が大きく、北部沿岸ヤマセ常緑地帯
の良苗米生産の急進な普及を図るための栽培法として指導上の参考に供する。

2. 技術内容

1) 東北部ヤマセ常緑地帯における「たがねみのり」の期待生育量は下表のとおりである。

地帯	目標 収量 (%)	出穂期 (%)	成熟期 (%)	登熟 日数 (日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	当刈 穂数 (本)	一穂 粒数 (粒)	当刈 粒数 (千粒)	登熟 歩合 (%)	玄米 千粒重 (g)	備考
沿岸部 (東北常 緑地帯)	450 以上	8/6 ~ 20	9/6 ~ 19	42 ~ 45	25 ~ 30	17 ~ 18	400 ~ 450	25 ~ 30	10 ~ 15	25 ~ 30	200 以上	徳中町 中心

2) ヤマセ常緑地帯における「たがねみのり」の耐寒安定栽培法

(1) 育苗はポット苗または散播成苗とする。

丸型樹脂ポット苗や散播成苗等の葉数増加苗は従来の中苗と比較して活着が良
好となり、初期生育量が容易に確保され、生育が安定する。出穂と中苗に比べて
3~4日早まり穂数が増え、収量は20%程度増収する。

(2) ポット苗又は散播成苗と側条施肥を組合せる。

播種の全層施肥に比較して、側条施肥は初期からの分けつが旺盛と穂数増に結
びつき、増収が期待できる(10%~20%)。

(3) 防風網の設置を図る。

移植後の生育量確保と出穂の促進には防風網の効果が極めて大きく、出穂は20
Hに比べて5Hで4日早まり、また収量は15%程度増える。

(注: 20Hとは防風網の高さの20倍の距離の地点)

(4) 出穂後の登熟積算温度 860~900℃を目安に収穫し、刈り遅れにならないよう
に注意して品質低下防止に努める。

3) 栽培技術の改善により品質(検査等級)の向上が可能である。

「たがねみのり」は「リヤニシキ」に比べて検査等級がノランク向上する。

品種的な等級向上に加え栽培技術向上によりさらに品質改善が期待できる。

4. 指導上の留意事項

1) 育苗(成苗)にあたり、播種量(50~70g/箱)育苗日数(40~45日)葉数
40葉以上を確保し、健苗育成に努め、適期移植を励行すること。

2) 移植後の水管理は昼間止水、夜間かんがいを徹底し、初期生育の確保と出穂の
促進を図る。

3) 植付本数(1株3~4本) 栽種密度(㎡当たり20株)を適正にし、穂数確保
に努めること。

4) 防風網は集団一付とヤマセの風向に直角になるよう、出来るだけ長く張り、地
面とのすきまは10cm以下になるように設置し、防風効果を高めること。

5) 「たねまのり」は病害には強いが、紋枯病には弱いことから、病害に注意し、防除措置による適正に防除に努めること。

4. 参考文献・資料

- 1) 昭和57年度 指導上の奨励事項と米生産地帯における防風網の水稻生育に及ぼす効果
- 2) 昭和59年度 指導上の奨励事項水稻「たねまのり」
- 3) 昭和60年度 奨励事項 参考事項水稻「たねまのり」の栽培法
- 4) 昭和60年度 指導上の参考事項耐冷稲作技術の総合効果
- 5) 昭和60年度 指導上の参考事項水稻の側条施肥法

5. 試験成績の概要

1) 生育向上による効果

地域別	項目 試験区名	茎数 (本/m ²)				出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	成熟期			m当穂数 (×10粒)	玄米重 (kg/2)	同位率 (%)	玄米 F粒重 (g)	検査 等級
		6/10	6/25	7/4	7/24			穂長 (cm)	穂重 (cm)	穂数 (%)					
種市町	「たねまのり」	110	261	318	371	8.25	10.15	70.7	18.2	392	30.0	43.0	120	20.5	2下
	「たねまのり」中苗	90	101	180	314	28	19	65.1	16.9	333	29.5	35.8	100	19.2	2下 3中
	「たねまのり」中苗	96	124	225	467	26	17	73.1	16.2	366	24.8	39.5	110	20.9	3上 3中
久慈市	「たねまのり」	74	270	359	498	8.22	10.13	80.0	18.3	449	36.8	64.5	101	22.1	3中
	「たねまのり」中苗	80	216	303	470	23	15	79.3	18.2	440	37.2	63.6	100	21.7	3中
	「たねまのり」中苗	80	212	280	490	22	17	83.2	16.8	412	40.2	67.0	125	21.3	3下 3中
	「たねまのり」中苗	84	228	290	531	24	20	70.0	17.5	406	38.2	66.2	104	21.8	3中 3下

2) 側条施肥による効果

地域別	項目 試験区名	茎数 (本/m ²)				出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	成熟期			m当穂数 (×10粒)	玄米重 (kg/2)	同位率 (%)	玄米 F粒重 (g)	検査 等級
		6/10	6/25	7/4	7/24			穂長 (cm)	穂重 (cm)	穂数 (%)					
種市町	「たねまのり」側条施肥	108	313	414	595	8.25	10.15	76.0	17.6	451	35.4	49.3	115	20.9	2下 3中
	「たねまのり」側条施肥	99	249	336	438	25	16	72.2	18.2	384	31.3	43.1	100	19.6	2下 3上
	「たねまのり」側条施肥	110	261	318	371	25	15	71.2	17.8	366	30.0	43.0	100	20.6	2下
久慈市	「たねまのり」側条施肥	98	305	414	568	8.23	10.13	80.7	17.8	487	36.4	67.9	107	21.6	2下 3中
	「たねまのり」側条施肥	80	216	303	470	23	15	79.3	18.2	440	37.2	63.6	100	21.7	3中 3下

3) 防風網からの距離別出穂期・47量・47量構成要素

